

## 入学式 校長式辞

やわらかな春の風や日差しが、花のにおいや鳥のさえずりを運んでくれる今日の佳き日に、広島市教育長 糸山隆様、広島県教育委員会教育長 平川 理恵様をはじめ、

多数のご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに、「広島市立広島みらい創生高等学校」記念すべき第一回入学式を執り行うことができますことを、衷心よりお礼申し上げます。

先ほど、入学を許可いたしました、五〇二名の皆さん、入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。

また、保護者の皆様、お子様のご入学、まことにおめでとうございます。

これまで、お子様を育ててこられました皆様のご尽力に、敬意を表すとともに、私ども教職員に課せられた責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

私ども教職員は、お子様の大いなる成長を目指して教育活動に取り組んでまいりますので、どうか、ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

さて、新入生の皆さん。ようこそ「広島市立広島みらい創生高等学校」へ。

皆さんは、本日開校したばかりの本校に入学し、本校の第一期生となりました。

本校の校名である「広島みらい創生」には、開校までに関わってこられた多くの方々の様々な思いが込められています。

まず、「広島みらい創生」の「広島」については、定時制の課程と通信制の課程との併修や、午前・午後・夜間の幅広い授業時間帯の中からの授業選択など、新たな取組を、ここ「広島」から全国に発信するために、校名の最初に「広島」がつけられています。

次に、「みらい創生」については、生徒一人一人が、教職員と一緒にあって、自らのかけがえのない「みらい」を主体的に創り出す、すなわち「創生」していくという意味が込められています。

さらに、生徒一人一人が、夢や希望、目標に向かって学んでいくことを通して、自らの「みらい」や将来とともに、地域の「みらい」も「創生」していってもらいたいという期待も込められています。また、「みらい」を漢字ではなく、平仮名で表すことで、生徒、保護者、教職員は勿論、全ての方々から、校名に対しての親しみや優しさ、温もりを感じてもらいたいという期待も込められています。

このように、本校の校名である「広島みらい創生高等学校」には、皆さんへの期待や応援メッセージがたくさん含まれていることをしっかりと心に刻み込んで、かけがえのない高校生活を送ってください。

そして、本校を卒業するときには、「広島みらい創生高校に入学してよかった。」「私の母校は広島みらい創生高校です。」と、大きく胸を張って言えるようにしましょう。

我々、教職員も皆さんを全力でサポートしたり、バックアップしたりすることを約束いたします。

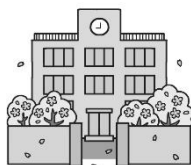
結びになりますが、本日御臨席を賜りました皆様方に改めて心から御礼申し上げますとともに、新入生の皆さんが自分の夢の実現に向け、充実した学校生活を送ることを祈念し、式辞といたします。

新入生の皆さん。「広島みらい創生高校」で、自分だけの「みらい」を「創生」しましょう。

心から期待しています。

平成30年4月8日

広島市立広島みらい創生高等学校 校長 開 英治



## 新入生代表宣誓



あたたかな春の訪れとともに、私たち 502 名は広島みらい創生高等学校の新入生として入学式を迎えることができました。

本日は、私たちのために、このような立派な入学式を行って頂き、ありがとうございます。

新入生一人一人は、これから始まる高校生活に期待と不安で胸がいっぱいです。

私たちは広島みらい創生高等学校で、これから一生懸命に学校生活に取り組んでいきたいと思えます。

今まで私たちは学校の伝統を受け継ぐ立場でした。

しかし第一期生となった今、私たちはこの広島みらい創生高等学校の伝統を築き上げる立場になります。

「この学校に入学したい」、そう思ってもらえるような素晴らしい伝統を築き上げていきます。

最後になりましたが、これからお世話になる先生方、私たち新入生を温かい目で見守り、ご指導くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成 30 年 4 月 8 日

平成 30 年度新入生代表



## ○「みらい通信」について

このみらい通信は広島みらい創生高校の通信教育コースの生徒に郵送で送られるものです。基本的に毎月の月末に発行し、生徒に郵送します。

4・5月号と1・2月号は合併号として発行されますので、年間10回発行されます。通信教育コースの生徒にとって、学校生活に大切な情報が掲載されていますので、必ず熟読してください。

## ○通信教育コースの学習について

通信教育コースの学習の3つの柱は、スクーリング（面接指導）、レポート（添削指導）及び試験です。スクーリングには、できるだけ毎回参加してください。スクーリングの中でレポートを配付します。レポートはできるだけ早く完成させ、次のスクーリングで提出し、合格できるようにしていきましょう。

通信教育コースの学習はレポートの作成が中心となるため、家庭での「自学自習」が必要となります。「自学」で分からなかったところはスクーリングの際などに担当の先生に質問しましょう。

そして、スクーリングやレポートの学習成果を確認する試験は合格できるよう、しっかりと試験勉強に励みましょう。

## ○スクーリング時の登校、スクーリングへの出席、レポートの提出について

4月19日（木）からスクーリング①が始まりました。スクーリングには出席しましたか。スクーリングはできるだけ毎回出席し、学習のポイントをつかみましょう。

また、レポートは提出しましたか。まだの人はスクーリング②で登校した際に、必ず提出しましょう。

### 1 スクーリング時の登校について

- ICカード生徒証を入れた名札をつけましょう。
- 登校時にはICカードリーダーにタッチしましょう。（下校時にも忘れずに。）



### 2 スクーリングへの出席について

- 受講する講座の教科書、学習書、生徒証、バーコードシール、筆記用具を持って出席しましょう。忘れ物があった場合は、出席できないことがあります。
- 出席したら、担当の先生の指示で、自分の生徒バーコードシールを座席表に貼りましょう。

### 3 レポートの提出について

- レポートの表紙の指定の場所にバーコードシールを貼り、組・氏名を記入しましょう。
- レポートは3F通信教育コースの職員室前のポストに提出するか、郵送しましょう。
- 郵送する場合は、レポートと添削伝票を学校指定の返信用封筒（窓付き）に封をせずに入れて、それらを学校指定の郵送用の封筒（大）に入れて切手を貼ってください。封筒等は本校職員室前の棚にあります。切手は100gまでは15円で、それを超える場合は重さによって切手を追加してください。

※ 単位を修得するためには、必要なスクーリング（面接指導）出席回数、レポート（添削指導）合格回数をクリアし、試験での点数が合格点以上とならなければなりません。次のページの「平成30年度開設講座一覧」を確認して、計画的に学習を進めましょう。

○平成 30 年度スクーリング日程

スクーリングは年間 14 回行われます（試験の 2 回を除く）。

日曜スクーリング、火曜スクーリングは 2 週間に 1 回のペースで、午前から午後にかけて 6～7 時間の面接指導が行われます。

木曜スクーリングは 1 週間に 1 回のペースで、夜間に 3～4 時間の面接指導が行われます。

同じ回数 of スクーリングでは、日曜、火曜及び木曜は全て同じ内容の面接指導が行われます。

回数	日曜スクーリング	火曜スクーリング	木曜スクーリング	
			a 日程	b 日程
①	4 月 22 日	4 月 24 日	4 月 19 日	4 月 26 日
②	5 月 13 日	5 月 15 日	5 月 10 日	5 月 17 日
③	5 月 27 日	5 月 29 日	5 月 24 日	5 月 31 日
④	6 月 10 日	6 月 12 日	6 月 7 日	6 月 14 日
⑤	6 月 24 日	6 月 26 日	6 月 21 日	6 月 28 日
⑥	7 月 8 日	7 月 10 日	7 月 5 日	7 月 12 日
⑦	7 月 22 日	7 月 24 日	7 月 19 日	7 月 26 日
前期 試験	8 月 26 日	8 月 21 日	8 月 23 日	8 月 30 日
	9 月 2 日	8 月 28 日		
⑧	10 月 14 日	10 月 16 日	10 月 11 日	10 月 18 日
⑨	10 月 28 日	10 月 30 日	10 月 25 日	11 月 1 日
⑩	11 月 11 日	11 月 13 日	11 月 8 日	11 月 15 日
⑪	11 月 25 日	11 月 27 日	11 月 22 日	11 月 29 日
⑫	12 月 9 日	12 月 11 日	12 月 6 日	12 月 13 日
⑬	12 月 23 日	12 月 25 日	12 月 20 日	12 月 27 日
⑭	1 月 6 日	1 月 8 日	1 月 10 日	1 月 17 日
後期 試験	1 月 20 日	1 月 22 日	1 月 24 日	1 月 31 日
	1 月 27 日	1 月 29 日		

生徒指導部より

生活指導について

本校では「みらいを創る礎（いしずえ）」を定めています。これは、本校で学校生活を送る上で、みなさんに実行してほしいことを示すものです。本校には、細かな校則はありません。それだけ、みなさん自身に自己管理・自律が求められるということです。

「礎」とは土台のことです。ここで示す3つのことは、みなさんがこれからの人生を歩んでいく上でも土台になることだと思います。ぜひ、本校での学校生活を通して、この3つのことを「当たり前の行動」にできるようにしましょう。

【みらいを創る礎】

- 1 あいさつをする      2 時間やルールを守る      3 自分も他人も大切にすること

☆ 生活におけるルール

- 他人を傷つけたり、迷惑をかけたりする行為は許しません。  
暴力、いじめ、暴言、威嚇など他人を傷つける行為は絶対に許しません。また、近隣のマンションや駐車場、飲食店などへの迷惑行為（敷地へ入り込む、たむろする、ごみを投げ捨てる など）も指導の対象です。
- 社会や学校のルールを守りましょう。  
社会には「法律」というルールがあり、学校には「校則」というルールがあります。法律に違反すれば罰せられます。校則に反する行為には指導を行います。社会で許されないことは、学校でも許されません。1人ひとりがルールを守り、安心して生活できる学校を作っていきましょう。
- 学びの場にふさわしい服装で通学しましょう。  
本校では制服を定めていません。場にふさわしい服装を考えることも、学習のひとつです。ただし、体育のスクーリングには、必ず学校指定の体操服・体育館シューズで出席してください。  
また、校内では吊り下げ名札に生徒証を入れて、首から提げて持ち歩きましょう。
- 校内における携帯電話・スマートフォン等の使用は禁止です。  
校内では、電源を切るかマナーモードに設定してください。持ち込むことはできますが、使用することはできません。携帯音楽プレーヤーやタブレット等も同様です。
- 徒歩か公共交通機関で通学しましょう。自転車での通学は許可が必要です。  
学校周辺は交通量が多いので、安全には十分気をつけて通学するようにしてください。くれぐれも、道いっぱい広がって歩いたり、横断歩道のない場所を横切ったりすることがないように注意しましょう。  
自転車での通学を希望する場合は、「入学のしおり」や「School Guide Book」を見て、許可のための条件を確認して、自転車通学許可願を提出してください。特に、自転車保険については、自身のけがに対する補償だけでなく、賠償責任が生じた場合の補償にも対応できる保険へ加入するようにしてください。また、決められた場所へ整然と駐輪するようにしましょう。  
なお、自動車やバイク（原付を含む）での通学はできません。

## ☆ スクーリングにおけるルール

通信教育コースの学習においては、1回のスクーリングが、単位修得に大きく影響することもあります。毎回のスクーリングを大切にしましょう。

また、自分の学びはもちろん、周囲の人の学びも尊重しなければなりません。本校に通う全ての生徒が安心して学べるよう、次のようにルールを定めています。

- 5分以上スクーリングに出席していない時間がある場合は、出席扱いとなりません。遅刻、早退、中抜けなどしないようにしましょう。



- スクーリングを妨害する行為は禁止です。スクーリングに来ているのは、あなただけではありません。私語、居眠り、奇声、騒音、飲食、徘徊など、周囲の人の学習の妨げになる行為は厳禁です。

- 必要なものは必ず持参しましょう。教科書、学習書、副教材、筆記用具、レポートなど、スクーリングに必要なものは忘れないようにしましょう。どのスクーリングで何が必要なのかは、教科担当者の指示に従ってください。

- 携帯電話・スマートフォン等の使用は厳禁です。電源を切るかマナーモードに設定に設定してください。スクーリングに集中しましょう。

## 生徒会活動・部活動について

生徒会は、生徒のみなさんの自主的な活動によって運営される組織です。積極的に生徒会活動に参加して、充実した学校生活を創っていきましょう。

### ☆ 生徒会執行部

生徒会活動を中心となって進めるメンバーです。フレキシブル課程として1つの生徒会執行部を組織します。会長と副会長は選挙により選出します。

#### ○ 執行部のメンバー

会長・副会長・会計・庶務・各専門委員長（保健美化・行事・図書・広報）

生徒会役員選挙は5月に実施予定です。役員として活動してみたい人は、立候補を考えておいてください。また、投票は全生徒の権利です。

### ☆ 部活動

本校では、次の部活動を設置します。入部の方法については、別紙でお知らせしています。なお、4月以降も入部は可能ですので、顧問の先生に申し出てください。

#### ○ 体育系の部

陸上競技、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、軟式野球、野外活動

#### ○ 文化系の部

演劇、放送、文芸、ESS